

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法治療学Ⅳ(発達)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	5階機能訓練室
担当教員	山中善詞				
実務経験と その関連資格	理学療法士としてボバース記念病院で脳卒中、小児疾患のリハを23年、ボバース法脳性麻痺部門インストラクター。山の辺病院で高齢者、整形疾患、成人から小児疾患のリハ20年臨床勤務、山の辺では小児から高齢者、整形疾患等を含めたタッチングの講習会講師				
《授業科目における学習内容》					
小児、特に脳性まひにおける基礎的な知識や治療戦略について、タイプ別に特徴を説明疑似観察、評価、治療を目標に教授します 脳性まひにおける基本的な概念、タイプ別特徴そのほかの小児疾患も含めて講義する。理学療法だけでなく、作業療法や言語療法、整形外科的治療なども含めた幅広い知識をお伝えます。また、毎回実技できる服装で参加ください。毎回の授業の最後10分で疑問を記入し提出、次回に講師より返答します。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書 上杉 雅之ら:イラストでわかる小児理学療法. 医歯薬出版					
《授業外における学習方法》					
人間発達学の復習。毎回教科書を授業前に予習ください					
《履修に当たっての留意点》					
小児理学療法は成人と異なり、理学療法分野のみならず作業療法や言語療法など幅広い知識が必要となります。極めて特殊な分野ですが、成人にも応用できます。授業では、授業中、講師が話す時は静かに聞き、討議や実技時には大いに学生間で話し合いましょう、また実技中の指示には従ってください(実技目的説明は静かに聞き、実技終了時は号令に従ってください)まよめの学習に中間時に小テストします。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児、小児疾患の基礎、正常発達を復習	教科書	人間発達学を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	人間発達復習 全身発達			
第2回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児、小児疾患の基礎、正常発達を復習	教科書	人間発達を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	人間発達復習 上肢、摂食発達			
第3回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺を学習していく上での基本的な知識を身に付ける	教科書	教科書予習	
	各コマにおける授業予定	脳性麻痺の定義、分類など必要な基礎知識の習得。			
第4回	授業を通じての到達目標	両麻痺における評価、治療の知識、実技を身に付ける	教科書	教科書予習	
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺—両麻痺①			
第5回	授業を通じての到達目標	両麻痺における評価、治療の知識を身に付ける	教科書	教科書予習	
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺—両麻痺②			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	痙直型四肢麻痺児の評価、治療を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺－四肢麻痺児①		
第7回	授業を通じての到達目標	痙直型四肢麻痺児の評価、治療を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺－四肢麻痺児②		
第8回	授業を通じての到達目標	痙直型片麻痺児の評価、治療知識を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	痙直型脳性麻痺－片麻痺児		
第9回	授業を通じての到達目標	アテトーゼ型、失調型、弛緩型脳性麻痺児の評価、治療知識を習得	教科書、レジュメ	教科書予習
	各コマにおける授業予定	アテトーゼ型、失調型、弛緩型脳性麻痺児①		
第10回	授業を通じての到達目標	アテトーゼ型、失調型、弛緩型脳性麻痺児の評価、治療知識を習得	教科書、レジメ	教科書予習
	各コマにおける授業予定	アテトーゼ型、失調型、弛緩型脳性麻痺児②		
第11回	授業を通じての到達目標	重症心身障害児、整形疾患の評価、治療知識を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	重症心身障害児、二分脊椎、ペルテス病		
第12回	授業を通じての到達目標	進行性疾患の評価、治療知識を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	デュシヤンス型		
第13回	授業を通じての到達目標	染色体異常による疾患の評価、治療知識を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	ダウン症		
第14回	授業を通じての到達目標	低体重児、ハイリスク児についての評価、治療知識を習得	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	低体重児、ハイリスク児		
第15回	授業を通じての到達目標	発達障害の知識を学ぶ	教科書	教科書予習
	各コマにおける授業予定	発達障害、小児理学療法の特異性		